

4-15 伊豆大島の地殻変動

Crustal Movements in the Oshima Island

国土地理院

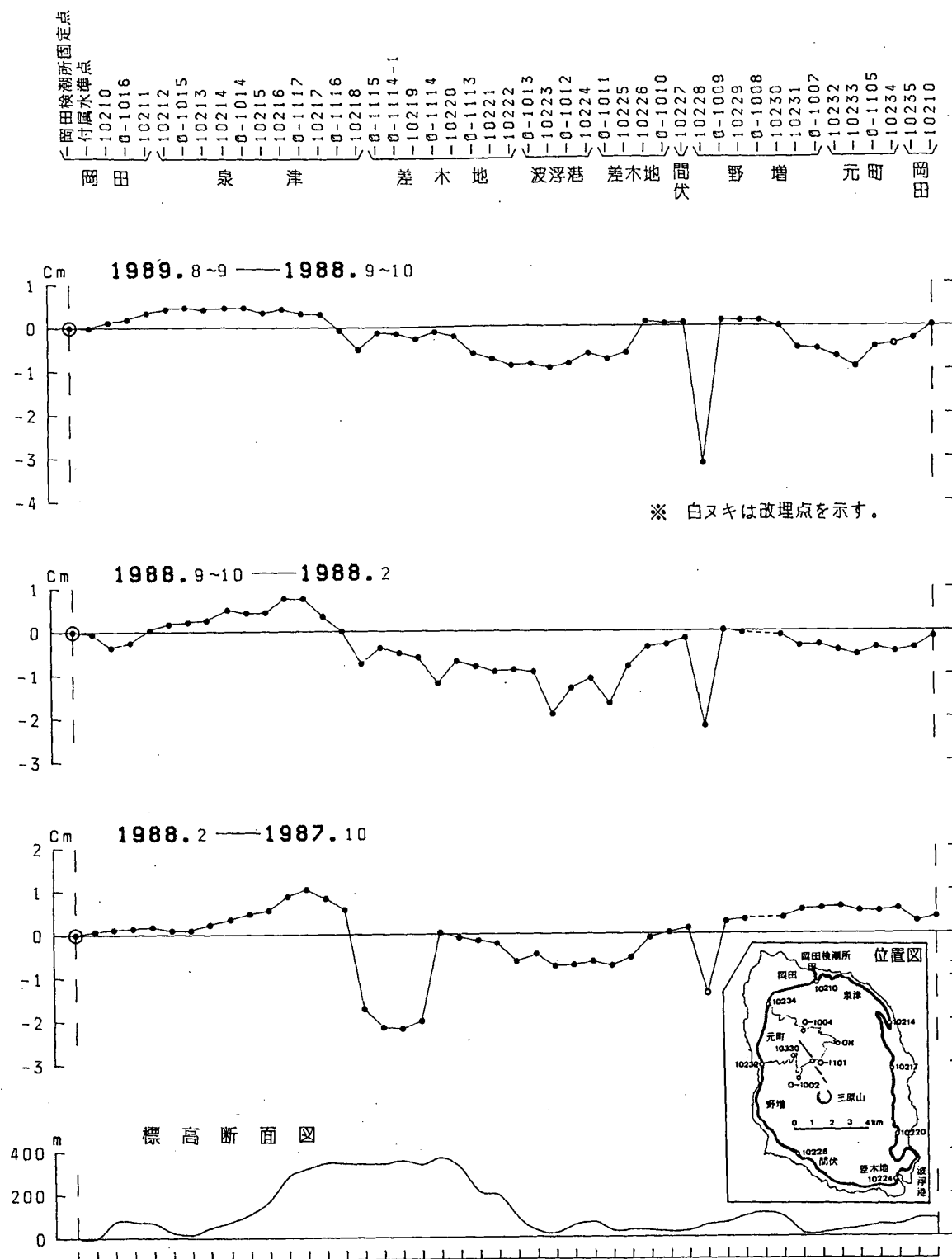
Geographical Survey Institute

1989年8月～9月に実施した測量の結果を報告する。第1図は伊豆大島一周道路における水準測量結果である。上下変動パターンは変化していないが、変動量は減少しつつある。第2図は三原山登山道路－外輪山－元町に至る路線の上下変動である。前回は殆ど変化なかったが、今回は外輪山の区間で隆起がみられる。第3図は岡田検潮所の月平均潮位による上下変動である。特に大きな変化はない。

第4図は大島－大島燈台間の距離測量結果である。1987年11月の噴火以降距離は伸びていたが、今回2 cmの縮みが観測された。外輪山の隆起と共に今後の測量に注目する必要がある。

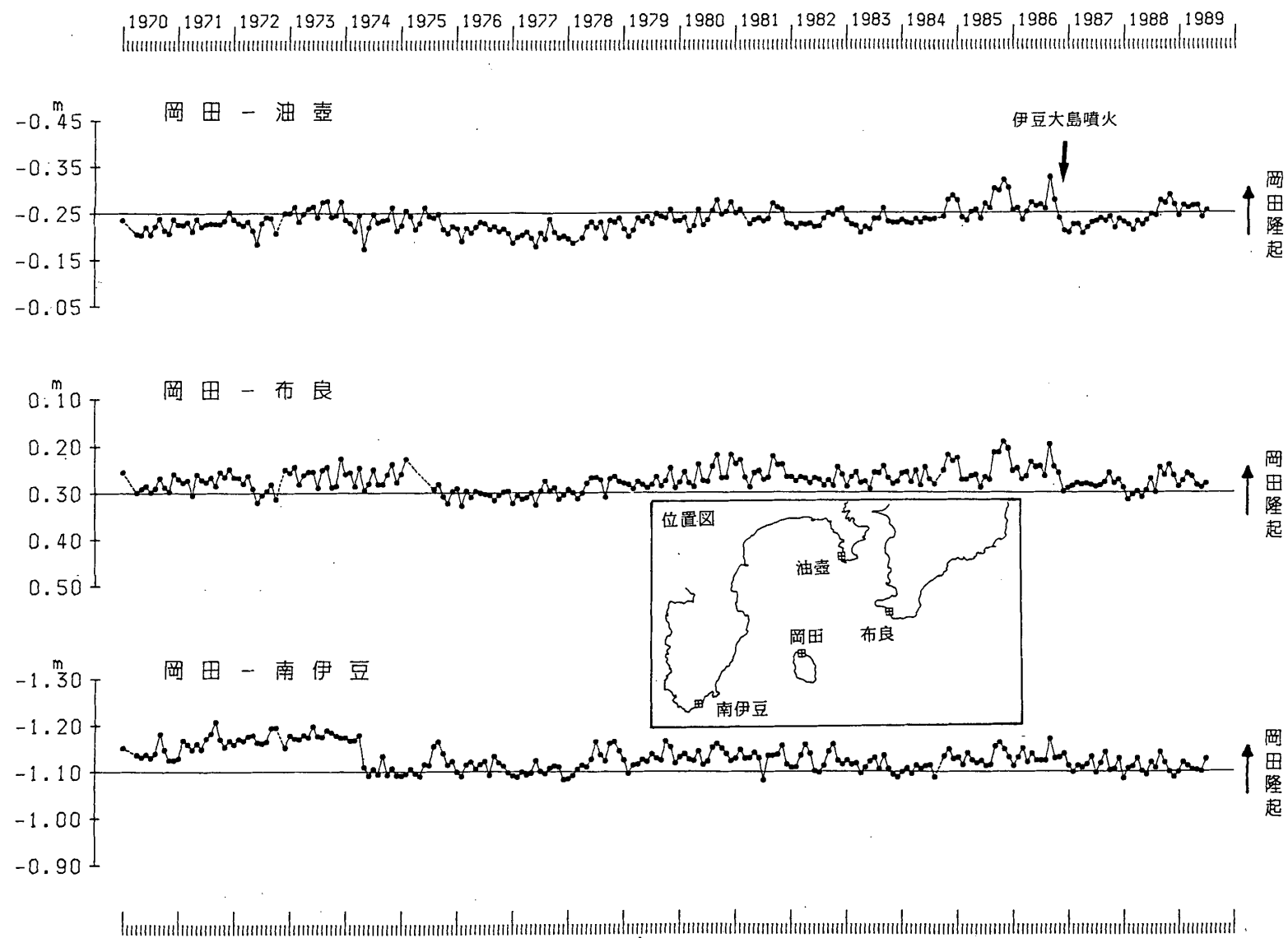
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，40（1988），231－236.
- 2) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，41（1989），303－308.
- 3) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，42（1989），225－228.



第1図 伊豆大島一周道路における上下変動

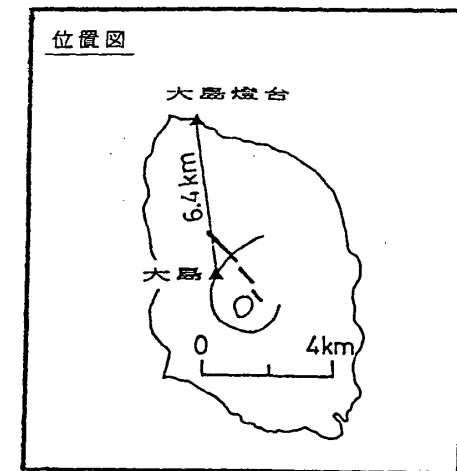
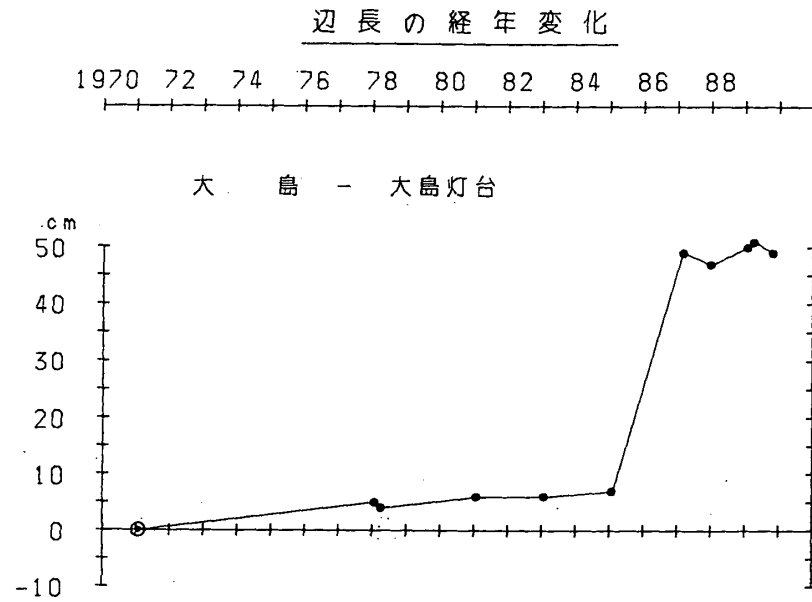
Fig. 1 Level changes along the coast line of the Izu-Oshima Island.



第3図 岡田と油壺，布良，南伊豆験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between Okada, Aburatsubo, Mera and Minami-Izu tide stations.

測定年 区 間	1970.12	77.12	78.02	80.12	82.12	84.12	87.01	87.11	88.12	89.02	89.09
大 島 — 大島灯台	6381. ^m 90	^m .95	^m .94	^m .96	^m .96	^m .97	2. ^m 39	^m .37	^m .40	^m .41	^m .39



第 4 図 大島～大島燈台間の辺長測量結果

Fig. 4 Distance changes between Oshima and Oshima light house.